

令和6年度都立忍岡高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。 ・英語を運用するために必要な語彙・文法・スキルの習得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器、JETやALTを活用した授業の実施。 ・考査毎に、一斉放送によるリスニングテスト実施。 ・スピーキング・ライティングテスト実施。 	各年次で、各種コンテストの開催： <ul style="list-style-type: none"> ○ボキャブラリーコンテスト ○レシテーションコンテスト ○スピーチコンテスト
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会における現状の把握と今後の役割を担うための思考の充実 ・情報の「課題解決」に向けた基礎、基本の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器を活用し、基礎的な技術、知識の定着を重視し、自ら発展的な課題に取り組む授業の構築。 ・情報社会における問題解決、課題の解決に向けた思考問題を取り扱う個々の探求的な授業の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅰでの知識を踏まえ、より高度なデータ活用やデータ分析を生かした問題発見・解決の探求に向けた学習 ・ワープロ、表計算、プログラミング、プレゼンテーションなどのソフトを生かした問題解決学習と発表
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすく書くこと」の指導の充実 ・「熱意をもって話すこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・俳句コンクールへの応募 ・言語活動「書評合戦」に関する科内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した小論文・作文指導 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募 ・「探究」でも生きる「わかりやすく話すこと」についての指導方法の開発
数学	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、問題から条件を読み取って立式する力の育成、自らの考えを論理的に記述できる力など、思考力・判断力・表現力等の育成に重点を置いた指導を行う。	学習の状況に合わせて作成した教材を活用し、題意を読み取って立式する力や関係を見通して考察する力を向上させる。 単元ごとに基本的な技能を定着させる。	既習事項の反復学習により基礎力を向上させる。また発展的な内容の学習により、論理的な思考力・表現力を向上させる。
理科	実験・観察を中心とした体験的学習による、基礎学力の充実をはかる。	授業に実験・観察を多く取り入れ、科学的な体験をさせることにより科学的な基礎知識を理解させる。	実験・観察を体験させることにより、理解したことを検証する。疑問や新しく発見したことを検討しさらに発展的な実験を計画させる。